

本庁入口の上に輝く
 新町の町章は
 重厚感たっぷり

むかわ町の誕生により まちの看板、 いろいろ変わっています。

新町誕生と同時に
 本庁の看板もリニューアル
 入口門柱の左側に設置

むかわ町役場



各自治体のシンボルが
 描かれているカントリーサイン
 国道沿いにあります

むかわ町
 穂別総合支所

穂別総合支所の
 看板は庁舎入口の上に設置
 支所の顔となっています



リニューアルした
 穂別地区「進化の道」の道案内

看板も新たに“むかわ町”の
 国保診療所として再出発



3月31日の社会福祉協議会の合併に
 あわせて看板も変更
 産業会館入口前の駐車場横に設置



むかわ町国民健康保険穂別診療所
 診療科目 内科・外科・小児科・整形外科・リハビリテーション科
 ベッド数 一般 13床、療養型6床
 外来診療時間 午前 8:45~午後5:00
 夜間診療 毎週火曜日(祝祭日を除く)
 午後5:30~午後7:00
 むかわ町穂別81番8 電話番号 0145-45-2111
 fax番号 0145-45-2112

新町誕生から1カ月…

「始まった」「変わった」「むかわ町」

新“むかわ町”が誕生し、暦もいよいよ新年度を迎えました。いろいろと環境が変わることの多いこの時期、むかわ町もまちの看板をはじめ、色んなものが変わり始めています。そこで、3月27日の新町誕生から“始まった”“変わった”制度や取り組みなどを紹介いたします。



新・むかわ町 心一つにスタート

3月27日(月)、午前8時15分から本庁で開庁式が行われ、むかわ町は歴史的な一歩を踏み出しました。式では職員や町議、関係者が見守る中、豊かな森や清流、海などをイメージした町章が刷り込まれた町旗が庁舎前のポールに掲げられ、横山宏史・町長職務執行者が訓辞を述べ、新町の発展に誓いを新たにしました。

その後、横山執行者、山口旧町長、奥村旧町議会議長など4人がくす玉を割り、新町の門出を祝いました。

8時30分からは、新たに導入した戸籍電算システムが披露され、テープカットの後、新システムにより証明書第一号が町内在住の源津タメ子さんに交付されました。さらに、合併を記念して町内在住のカップルが婚姻届を提出するため窓口を訪れ、庁舎内はお祝いムードに包まれました。

一方、穂別総合支所では同

日、午前10時から開所式が行われ、町民や職員などが出席して本庁と同じく町旗を掲揚した後、横山執行者、山崎旧町議会議長などが除幕して、支所名が入った新たな銘板を披露しました。

現在、新・むかわ町は誕生後初めての新年度を迎え、「人と自然が輝く清流と健康のまち」の創造に向かって大同団結し、新たなまちづくりを進めています。



▲本庁舎で行われた開庁式

▼穂別総合支所で行われた開所式



始まったこと

新町誕生にあわせて、戸籍総合システムや防災行政無線施設などが整備され、住民に関わりの深い行政サービスが充実しました。

充実された行政サービス

防災行政無線

災害発生時に被害情報や避難勧告など防災情報をいち早く住民に発信
通常時は町の行事などの情報も発信



町 民の生命と暮らしを守るため
防災行政無線施設を整備しました

地震、津波、洪水などの災害はいち早く正確な情報をキャッチすることが何よりも重要です。そのため、町では災害時に町民に対して被害情報や避難勧告などの防災情報を直接、瞬時に発信できる「防災行政無線施設」を整備しました。これにより、災害が発生した場合、屋外スピーカーや戸別受信機を通して通報を行うことができるようになりました。

放 送は「定時放送」「緊急放送」「消防署放送」の3種類があります。

「定時放送」は毎日午前7時と午後6時に音楽が流れます。町から行事などのお知らせがある場合は、午前9時と12時30分の2回放送されます。「緊急放送」は災害時に被害情報や避難勧告などの防災情報が放送され、「消防署放送」は春・秋の火災予防週間、年末年始など定期的に消防署からのお知らせがあります。なお、放送を聞き逃したときはTEL42-3144へお電話を。

戸別受信機の取り扱い 音量の調整

戸別受信機の音量の調整は、放送時に音量のつまみでお好みの大きさにあわせてください。なお、緊急通報受信時には、音量調整に関係なく固定された音量で受信されます。

戸別受信機の取り扱い 長期留守の場合

電源スイッチを「切」にして電源コードを外し、さらに乾電池を取り出してください。乾電池を入れたまま、電源コードをコンセントから抜いた状態でも乾電池は消耗します。

戸籍総合システム

戸籍がコンピュータ化され、待ち時間が短縮
偽造など悪用防止にも対応



戸 籍謄(抄)本の名称や証明書の様式が変わりました

用紙は「A3版縦書き」から「A4版横書き」になり、コピーなどによる偽造を防ぐため「白色紙」から「改ざん防止用紙」になりました。証明印も「朱印」から黒色の「電子公印」に変わり、戸籍事務のスピードアップと正確性、安全性が高まり窓口サービスが充実されました。

住 民票・印鑑証明書の様式も変わります

戸籍謄(抄)本の変更にあわせて、住民票・印鑑証明書も証明印が変更され、わかりやすい様式に変わります。住民票・印鑑証明書両方ともパソコンにより印影が出力されますので、従来の押印作業が短縮されました。さらに印鑑登録書はカード化され、見やすくなりました。

戸籍・住民票などの証明手数料

- ☐ 戸籍の全部・個人事項証明書……450円
 - ☐ 改製原戸籍・除籍謄本・抄本……750円
 - ☐ 除籍の全部・個人事項証明書……750円
 - ☐ 戸(除)籍の附票……300円
 - ☐ 印鑑証明書……300円
 - ☐ 住民票……300円
- ※住民票は1人につき300円です。2人以上必要な場合は1人増えるごとに100円加算されます。

変わったこと

新年度から鷗川地区と穂別地区を結ぶ光ファイバーを活用したTV会議システムが始まります。また、年金制度の改正により国民年金保険料が上がり、支給される年金額が下がります。

年金制度

4月から国民年金保険料や支給される年金額の変更など年金制度の改正が順次実施



平成18年4月から平成19年3月までの国民年金保険料は月額13,860円となります
平成18年4月から平成19年3月までの国民年金保険料は、月280円引き上げされ月額13,860円となります。国民年金保険料は、平成29年まで毎年度月額280円引き上げられ、最終的に月額16,900円となる予定です。これは、急速な少子高齢化に対応するために年金を支える負担と給付のバランスをとる仕組みを導入し、将来の保険料額を明確にしたものです。

支給される年金額も6月の定期支払分から変更となります。
平成17年の年平均の全国消費者物価指数が、対前年マイナス0.3%であったため、新年度の年金額は前年度より0.3%少ない額となります。満額の老齢基礎年金の場合は、月額200円ほど引き下げとなります。平成18年4月分から新しい年金額となりますので、6月の定期支払(4月・5月分)から変更になります。

障がいを持ちながら働く人が評価される仕組みになります
新年度から65歳以上の方は「障害基礎年金と老齢厚生障害年金」、「障害基礎年金と遺族厚生年金」の組み合わせについて、併せて受給(併給)することができるようになり、障がいを持ちながら働いたことが評価される仕組みになります。併給を申請される場合は選択申請書を提出していただく必要があります。

始まったこと

始まるシステム 変わる年金制度

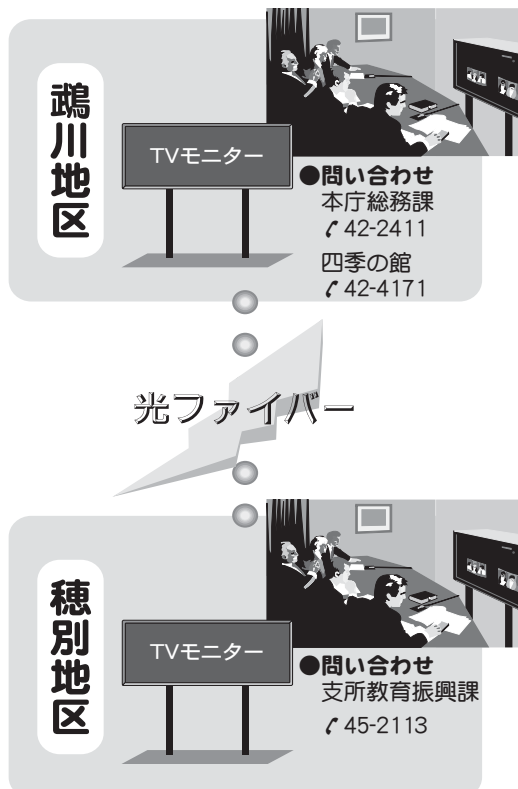
TV会議システム

鷗川地区と穂別地区の距離を縮めるため光ファイバーを有効活用



離れていても大丈夫
TV会議システムが稼働しました
新年度から産業会館・四季の館と穂別町民センターを光ファイバーで結ぶTV会議システムが稼働しました。このシステムによって、50インチの大型モニターをお互いに見ながら、設置されたマイクを通して一同に介さなくても会議ができるようになりました。住民の方も利用できます。詳しくはお問い合わせ先まで。

TV会議システムのイメージ図



変わったこと

4月から介護保険制度が改正されました。
介護を受けなくても自立した生活を維持することと、
介護が必要な状態になってもそれ以上悪くならないよう
「介護予防」を重視したサービスが始まります。

導入された新たな 介護予防サービス

介護保険制度

改正の大きなポイントは、
高齢者の「自立支援」を基本とした、介護予防の重視
新たな介護予防サービス「新予防給付」「地域支援事業」が創設

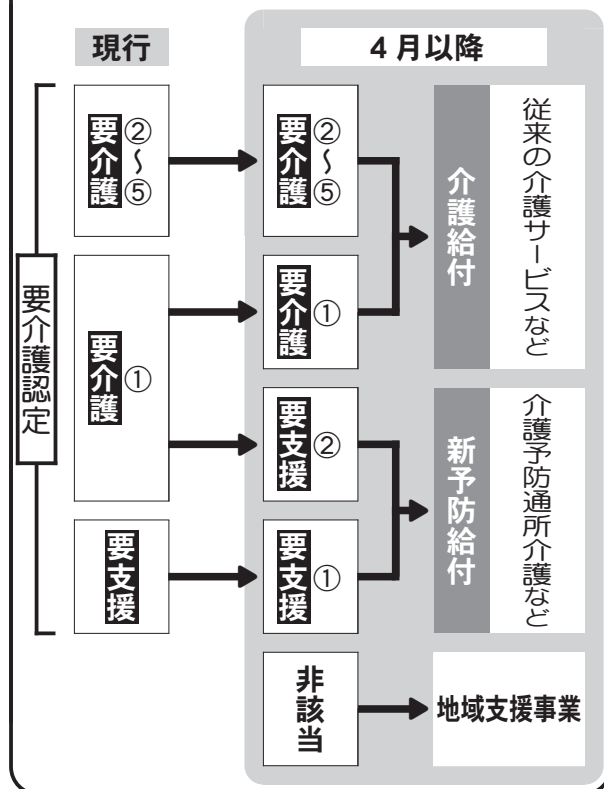


要 介護区分が変わりました
1つだった「要支援」の区分が2つに…
これまでの要介護区分は、「要支援」と「要介護①～⑤」の6つの区分に分かれていましたが、これからは、要支援者は「要支援①」、要介護①に相当する人のうち心身の維持改善が見込まれる方は「要支援②」となります。要支援①～②を「要支援者」といい、要支援者には、心身の状態の維持改善を図るため「新予防給付」が実施されます。

要 介護の状態が重くならないために
自立した生活を支援するサービスが充実
「要支援者」と認定された方には介護サービスの提供方法が見直され、心身の状態の改善に向けた「新予防給付」が実施されます。例えば、通所介護（デイサービス）では筋力アップに向けたトレーニングの実施など、自立した生活を支援するサービスが充実されます。

地 域の高齢者の総合的な拠点
「地域包括支援センター」が開設
地域の高齢者に対する総合的な拠点として、「地域包括支援センター」が開設されます。新予防給付や介護予防事業についてのほか、高齢者やその家族に対する総合的な相談支援、高齢者の虐待防止、地域のケアネットワークづくりの支援などを行います。町では、本庁健康いきがい課と穂別総合支所保健介護課に開設します。

4月からの介護サービス



介護保険、地域包括支援センターに関する
問い合わせは、
本庁▶健康いきがい課 ☎42-2415
支所▶保健介護課 ☎45-3326 まで

今 年は保険料見直しの年
介護保険料が変わります

65歳以上の介護保険料は3年ごとに見直すこととされており、今年がその年に当たります。保険料の算定は、今後3年間の介護サービス必要量を見込んで給付額を算出し、基準額に基づいて所得段階別に保険料が決められます。一人ごとの保険料の決定通知は、普通徴収（納付書で納める）の方は6月にお知らせします。詳しくはお問い合わせ先まで。

田畑選手のトリノオリンピック報告会 「皆さんの応援に感謝。今までで最高のオリンピックでした。」

3月23日、四季の館で、後援会(榊哲夫会長)主催の「田畑真紀選手2006TORINOオリンピック報告会」が開かれました。報告会には町内外から約120人が出席し、熱烈な拍手で田畑選手を迎えました。拍手が鳴りやまないなか、田畑選手は五輪代表選手の公式プレザーを身にまとい、レース前の顔とは対照的に満面の笑みで登場。地元の子どもたちから花束や菅原英世教育長から寄せ書きの応援旗が贈られました。田畑選手は式の中で「感激しました。五輪では、皆さんの応援がとても力になりました。残念な

がらメダルには届きませんでした。が、5種目もの多くのレースに出場できて幸せでした。今までのなかで最高のオリンピックでした。今後も継続は力なりをモットーに今後がんばっていきたい。」とあいさつ。会場から再び大きな拍手が送られました。この後、祝杯をあげ、テーブルスピーチなどを行い、田畑選手の活躍と健闘を称えました。



↑五輪ではいたシューズを片手に
レースを振り返った田畑選手



会場の出席者と笑顔で握手↓



むかわ NEWS FLASH

SURPRISE

HOT

TOPICS

CULTURE

EVENT



「むかわ」に関わる
ニュースをお待ちしています。

☑本庁企画課企画広報係

☎0145-42-2412

☑穂別総合支所地域振興課

☎0145-45-2111

3月30日

CONTRIBUTION

穂別町商工会青年部が 社協へ収益金を寄付

昨年の未使用カレンダーを回収し販売して得た収益金8,320円を3月30日、穂別町商工青年部(鎌田政博部長)は穂別町社会福祉協議会(現むかわ町社会福祉協議会穂別支所)へ寄付しました。リサイクルも兼ねた、この取り組みは毎年行っているもので今年も1月13日から31日までの間、町民センターや町立病院の待合室において行われました。収益金を寄付した鎌田部長は「新町の福祉向上に少しでも貢献できれば…。来年もがんばります。」と笑顔で語ってくれました。



穂別町社会福祉協議会に収益金を寄付した鎌田部長

3月31日

COMPLETION

いつまでも心に残したい 鶴川町の大型マップ完成

3月31日、デイサービスたんぼぼ(佐藤正俊理事長)で、110年の歴史に幕を閉じた鶴川町をいつまでも心に残そうと、利用者約100人が制作に取り組んで完成した「利用者ご自宅マップ」が披露されました。昨年4月から一年かけて制作。模造紙を何枚も使い、道路や川などを描き利用者が住む地区には顔写真が入った「ご自宅」を貼ったこん身の大型マップは見応え十分。苦勞して完成させた利用者たちは「みんなで力を合わせて素晴らしいマップができた。」と万歳で喜び合いました。



「利用者ご自宅マップ」の完成に万歳をした利用者

4月
6日～7日

ENTRANCE

大きな期待を胸に… 町内各小中学校で入学式

4月6日から7日にかけて、町内の小中学校で入学式が行われ、子どもたちが元気いっぱいに学校生活のスタートを切りました。このうち、仁和小学校に入学した2人は先輩達を目の前にちょっと緊張した様子。でも、先生から名前を呼ばれると、「はい」と大きな声で返事をしてしっかりと立ち上がりました。今年入学した町内の新一年生は小学校83人、中学校95人で合計158人。小さな不安と大きな期待と喜びを胸に新入生の新たな生活が始まりました。



4月6日に行われた仁和小学校の入学式

4月
1日～7日

START

博物館・地球体験館で 「新町誕生記念週間」

新町の誕生を記念し「新町誕生記念週間」として、4月1日から7日までの間、穂別博物館と穂別地球体験館は町民に限り入館料を特別料金で開放しました。料金は通常、両館合わせて見学すると大人で1,100円のところを、記念週間に限り500円という格安料金。この間、48人も多くの町民が訪れ、地球体験館の芦谷美行館長は「多くの町民が見学し自分の町の観光名所を肌で感じてほしい。そして町外にどんどんPRしていただければ…」とにっこり顔で話してくれました。



「新町誕生記念週間」で人を呼んだ地球体験館

4月8日

OPEN

旬の野菜・花などズラリ ぼぼんた市場がオープン

4月8日、むかわ産の特産品などを集めた直売所・ぼぼんた市場がオープンしました。今年も町内外から多くの人々が訪れ、オープンと同時に店内は人であふれました。陳列台には春レタス、ほうれん草などの新鮮野菜、花きのほか、農家の手作りみそや漬物なども並び、買い物客のかごの中は「むかわ産」でいっぱい…。また、店先ではこだわりの鶏卵「穂別天恵卵土」が訪れた人の人気を集めていました。なお、5月20日には鮮魚や新鮮野菜が並ぶ初企画「朝市」が予定されています。



オープン当日、人であふれたぼぼんた市場の店内

4月18日

ESTABLISH

心身ともに健康に学ぶ 鶴川地区高齢者大学開校

3月7日に閉校した鶴川町高齢者大学が、「むかわ町鶴川地区高齢者大学」に名称を変え、4月18日、開校式にあわせて入学式も行われました。冒頭に菅原英世学長が「名実ともに大学生として、生きがいと健康づくり、そして豊かな生活を送れるよう皆さんの活躍を期待します。また、むかわ町民として穂別地区の高齢者との交流を積極的に図ってほしい。」と式辞を述べました。開校した高齢者大学は今年26人の新入生を迎え、267人の学生でスタートします。



4月18日に行われた鶴川地区高齢者大学開校式

新町むかわ町の初代町長、町議会議員が決定 新たなまちづくりが本格的に始動

3月27日に旧鶴川町と旧穂別町が合併し新「むかわ町」が誕生したことにより、町長、町議会議員選挙が4月18日に告示され行われました。町長選挙は告示当日に前・山口憲造鶴川町長が立候補の届け出をし、他候補の届け出がなかったため無投票当選となりました。町議会議員選挙は旧町ごとに選挙区を設け、定数は鶴川地区11人、穂別地区9人となり全体で20人。4月23日に町内に設けた各投票所で投票され、四季の館で即日開票されました。結果は下表のようになりました。



4月23日に行われた町議会議員選挙の投・開票の様子

むかわ町議会議員選挙結果

■有権者数8,532人／投票者数7,458人／投票率87.41%

第1選挙区 (投票率86.25%)	第2選挙区 (投票率89.59%)
当選 たけ なか よし ゆき 竹中喜之氏(52歳) 508票(得票数)・無所属・新	当選 の だ し ょ う い ち 野田省一氏(48歳) 319票(得票数)・無所属・新
当選 き た む ら お さ む 北村修氏(57歳) 435票(得票数)・日本共産党・新	当選 ほ し ま さ お み 星正臣氏(53歳) 308票(得票数)・無所属・新
当選 み くら ひ で の り 三倉英規氏(51歳) 419票(得票数)・無所属・新	当選 は せ が わ た け お 長谷川健夫氏(66歳) 285票(得票数)・無所属・新
当選 お く む ら の ぶ ゆ き 奥村信幸氏(62歳) 406票(得票数)・無所属・新	当選 な か の つ く ひ さ 中野嗣久氏(66歳) 277票(得票数)・日本共産党・新
当選 つ が わ あ つ し 津川篤氏(59歳) 398票(得票数)・無所属・新	当選 い が ら し ひ で お 五十嵐秀夫氏(65歳) 263票(得票数)・無所属・新
当選 に っ た と み お 新田富夫氏(64歳) 387票(得票数)・無所属・新	当選 や ま ざ き ま さ あ き 山崎正昭氏(59歳) 259票(得票数)・無所属・新
当選 お お ま つ き み こ 大松紀美子氏(58歳) 382票(得票数)・日本共産党・新	当選 き た や ま よ う こ 北山洋子氏(70歳) 203票(得票数)・無所属・新
当選 こ さ か と し ま さ 小坂利政氏(58歳) 355票(得票数)・無所属・新	当選 よ し い ひ さ し 吉井久氏(71歳) 199票(得票数)・無所属・新
当選 み か み じ ゅ ん い ち 三上純一氏(59歳) 327票(得票数)・無所属・新	当選 も り も と ふ じ お 森本富士雄氏(66歳) 197票(得票数)・無所属・新
当選 き の し た た か し 木下隆志氏(74歳) 315票(得票数)・無所属・新	当選 よ こ や ま と し ひ こ 横山敏彦氏(59歳) 168票(得票数)・無所属・新
当選 な か じ ま い さ お 中島勲氏(63歳) 313票(得票数)・無所属・新	当選 き よ も と ま さ と し 清本正敏氏(58歳) 159票(得票数)・無所属・新
当選 さ と う ま ち ろ 佐藤守氏(59歳) 283票(得票数)・無所属・新	
当選 か わ し ま す え ひ ろ 川島末裕氏(67歳) 246票(得票数)・無所属・新	

*掲載順は上から得票数の多い順になっております
*年齢は告示日(4月18日)現在の満年齢です

むかわ MEMORIAL NEWS



新町の誕生を記念して、「むかわ町生まれ」となる最初の赤ちゃんを紹介します。

MUKAWA 1st BABY



はたけやま り く
畠山梨玖くん
平成18年4月1日生まれ

布団を蹴飛ばすぐらい元気な梨玖。このまま大きく元気いっぱい育ててね。(父 将也さん/母 加奈子さん)

●**新町へ期待すること**
新しいむかわ町には、きれいな町営住宅が増え、子どもが安心して遊べる公園や施設が増えてほしい。

「むかわ」に関わる
ニュースをお待ちしています。

☑本庁企画課企画広報係

☎0145-42-2412

☑穂別総合支所地域振興課

☎0145-45-2111

もっとサッカーが上手になりたい 将来の夢はLリーグ選手

U-15 (15歳以下)女子サッカーチーム

日胆なでしこレディースFC



Mukawa Human Life Interview

NITTAN・NADESHIKO・LFC

2004年9月に結成した
小中学生の女子サッカーチーム。
練習は毎週土曜日を中心に
むかわ町のたんぼぼ公園で行っている。
現在、むかわ町・新ひだか町・新冠町などの
小学2年生から中学3年生まで15人が所属
現在新メンバー募集中

vol.1

大好きなサッカー
もっと上手になりたい

「中学校へ進学してもサッカーを続けたい。」「女子のチームでサッカーをしてみたい。」「そんなサッカー好きな女の子がプレーできる場をつくりたかった」。

そう話してくれたのは、一昨年9月にむかわ町を拠点に活動する小中学生女子サッカーチーム「日胆なでしこレディースFC」を結成した坂本和則監督。当時は胆振東部・日高に小中学生の女子サッカーチームがなく、特に中学生は、学校はもちろんクラブチームもないためにサッカーをしたくても途中で断念した



り、別のスポーツに転向するケースが多かった。そこで、同監督や少年サッカーの指導者だった旧鶴川町の萬純二郎さん、旧穂別町の関谷敏朗さんが中心となって女子選手を募ってチームを結成したのが「日胆なでしこレディースFC」の始まり。最初はU-12(12歳以下)の小中学生チームだったが、徐々に人数が増え、昨年4月に苫小牧地区サッカー協会に加盟し、正式にチームとして発足した。現在はむかわ町、新ひだか町、新冠町などの小学2年生から中学3年生までの15人が所属し、毎週土曜日を中心にたんぼぼ公園で練習を行っている。今年2月に開かれた女子フットサルの全道大会では少女部門で4強に入る健闘を見せてきている。キャプテンの笹野弥子さんは「サッカーが大好き。いつもチームメイトと明るい雰囲気練習している。もっと上手くなって将来はプロ選手になりたい。」と生き生きとした表情で話してくれた。

このコーナーでは、むかわ町在住のいろいろな人・団体を毎月紹介していきます。
本町に住む方で、紹介したい人・団体がいる方は、本庁または支所の広報担当にご一報を!

小さなまちで大きく輝く



不妊治療でお悩みの方に朗報です！

“特定不妊治療”費用の一部が助成されます。

北海道では、不妊治療を受けている方の軽減などを目的として特定不妊治療費助成事業を実施しております。

高額な治療費が必要となる「体外受精」「顕微授精」といった特定不妊治療について、その治療費の一部が助成されるほか、助成期間も2年から5年へ延長されることになりました。

助成対象となる治療は体外受精と顕微授精

体外受精と顕微授精のみが対象となります。なお夫婦以外の第三者から提供を受けた精子・卵子・胚による不妊治療や代理母、借り腹によるものは対象となりません。

助成対象となる人には要件があります

特定不妊治療以外の治療法では妊娠の見込みがないか、または極めて少ないと医師に診断され、実際に治療を受けている方のうち、次の要件をすべて満たす方が

対象となります。

- ① 道内に住所を有すること
- ② 法律上の婚姻をしていること
- ③ 夫婦の前年の所得(合計額が650万円未満であること)
- ④ 知事が指定した医療機関での治療であること

助成限度額は年間10万円
助成期間は通算で5年間

特定不妊治療(体外受精・顕微授精)に要した費用に対して、年間10万円を限度に通算で5年間助成します。ただし、年間の治療費の2分の1の額が10万円に満たない場合はその額となります。

特定不妊治療費助成事業の目的

- 特定不妊治療費助成事業は、厚生労働省が少子化対策の一環として、子どもを希望しながらも恵まれない夫婦の不妊治療に対し、費用の一部を助成するというものです。
- 体外受精、顕微授精は医療保険対象外となっており、高額な医療費がかかるため費用の一部を負担することで、不妊治療の経済的負担を軽減することを目的としています。

＋ 助成の申請方法 ＋

助成の申請は原則として治療が終了した年度内に、
苫小牧保健所に申請書などを提出しなければなりません。

申請に必要な書類は次のとおりです

- ① 特定不妊治療費助成事業申請書
- ② 特定不妊治療費助成事業受診等証明書
- ③ 住民票謄本(記載事項の省略していないもの)
- ④ 所得額を証明する書類
- ⑤ 治療に係る領収書

● 問い合わせ 苫小牧保健所 / 0144-34-4168

- ※①と②の書類は、苫小牧保健所か指定医療機関にあります。
- ※住民票は世帯全員の謄本です。抄本と間違えないように注意してください。
- ※外国籍を有する方は、③の代わりに外国人登録原票記載事項証明書が必要です。
- ※申請書は、直接持参されても郵送でも、どちらでも提出できます。
- 送付先 〒053-0021
苫小牧市若草町2丁目2-21
苫小牧保健所あて



SPORT FOR
every one
DRAGON SPORTING LIFE

“むかわ町”として最初の戦い

5月31日(水)はみんなでスポーツ!!

“チャレンジデー”

5月31日(水)はいよいよチャレンジデーです。

旧鷗川町は過去3回参加していますが、「むかわ町」としては初参加となります。

3月29日に第1回目の実行委員会を開催し、主催事業の検討や

今後のスケジュールなどについて協議しています。

今年の対戦相手は鹿児島県知覧町。歴史ある観光の町で強敵です。

皆さんの協力で「金メダル獲得」と「むかわ町の勝利」を目指して

一緒にがんばりましょう!

チャレンジデーとは 国際的なスポーツイベント

チャレンジデーは国際的なスポーツイベントで、水曜日に開催することが決まっています。平日のため、お仕事の方が大半だと思います。そこで実行委員会では、各職場や企業でチャレンジデーに参加していただくようお願いしています。職場での体操や、ちょっとした運動などでもチャレンジデーに参加することができます。詳しくは、実行委員会事務局までお問い合わせください。

チャレンジデーに 職場や企業などで行う 独自のイベントを受付中

現在実行委員会では、チャレンジデーに職場や企業、団体などが行う独自のイベントを受け付けています。必要があれば積極的に広報活動を実行委員会で行わせていただき、宣伝、協力させていただきますと思います。

みんな
勝つぞ!!



知覧町ってどんなマチ?

知覧町は、鹿児島県薩摩半島の南部中央に位置する町です。北部には、武家屋敷が今も残っており、古くから「薩摩の小京都」と呼ばれ観光名所にもなっています。人口は13,887人。基幹産業は農業で主要作物は茶、畜産、園芸などです。なかでも「知覧茶」は全国的に知名度が高く、特産物となっています。

実行委員会が主催する イベントが決定

実行委員会が主催するイベントが決定しました。鷗川地区では「町民体育館」「四季の館」「たんぼぼ公園」を中心に、穂別地区では「スポーツセンター」「町民センター」などで、楽しい企画を用意しています。町民の皆さんが気軽に楽しんで参加できるイベントも多数ありますので、是非ご参加ください。詳しい内容は、折り込みチラシをご覧ください。

参加 方法

●むかわ町民
●当日むかわ町にいる人

主催事業への参加

グループ、職場、
自治会、協会など、
団体独自の取り組み

個人や家族の取り組み

代表者

登録用紙をFAX送信
またはセンターへ持参

集計センター

*集計センターは本庁舎3階委員会室
*支所は教育振興課で受け付けます

募集

recruit

実施されます

今年度の調理師試験

平成18年度調理師試験が次の要領で実施されます。

▼試験日時 8月24日(木)
午後1時30分～4時

▼試験場所

苫小牧市労働福祉センター
苫小牧市末広町1丁目15-17
014413512171

▼受験資格

学校教育法第47条(高等学校入学資格に規定する方で、多数人に対して飲食物を調理して供与する寄宿舎学校、病院などの施設または次の①から③までに該当する営業において平成18年6月2日までに2年以上調理の業務に従事した方

①飲食店営業

②魚介類販売業

③そとざい製造業

▼願書の提出先・受付期間

①提出先 北海道苫小牧保健所または最寄りの保健所

②受付期間

5月29日(月)～6月2日(金)
午前8時45分～午後5時15分

※郵送の場合は、6月2日の消印まで有効

▼受験手数料

6,700円(北海道収入証紙)

▼願書用紙の配布場所と期間

苫小牧保健所にて4月5日から6月2日までの間、配布しています

▼問い合わせ 苫小牧保健所 014413414177まで

募集しています

ほぼんだ市場のロゴマーク

ほぼんだ市場ではロゴマークを一般公募しています。採用された方には景品を差し上げます。

▼応募用紙

決められた様式はありません。はがき、文書、FAXで応募ください
※住所・氏名・電話番号は必ず記入ください

▼応募作品

一人何作でも受け付けます

※色の指定はありません。モノクロでも結構です。□□でもマークでも構いません

▼応募期限 5月31日(水)

▼応募先・問い合わせ

ほぼんだ市場事務局 高橋
0144212133(水曜休み)

いよいよ残り10区画

ふれあい農園利用者の募集

ふれあい農園は、市街地から苫小牧側へ1.8kmの位置にあり、総面積82^ハ。農園は50区画。農園アドバイザーが栽培指導にあたります。隣接には

パークゴルフ場、野球場などがあります。現在まで40区画の応募があり、残り10区画の募集となります。

▼利用価格 1区画5千円

▼応募資格

農園を適正に利用できる方

※町外の方でも応募できます

▼利用期間

利用許可日から10月末日まで

▼申し込み

①申し込み用紙は農業センターまたは役場本庁にあります

②申し込みは募集区画(10区画)が決まり次第、締め切りとさせていただきます

③申し込みは役場農政林務課(農業センター内)まで

▼申込先・問い合わせ 【本庁】農政林務課 04212330(直通)まで

▼申込先・問い合わせ 【本庁】農政林務課 04212330(直通)まで

入居者を募集

町営住宅空いています

町では次の要領で町営住宅の入居者を募集します。

▼募集住宅

【鵜川地区】

●若草団地 2DK～1戸 / 入居時期 5月下旬

●駒場団地 3DK～1戸 / 入居時期 5月下旬

●大原第2団地 2DK～1戸 / 入居時期 随時

●春光団地 3DK～1戸 / 入居時期

随時

【穂別地区】

随時募集しています

※家賃は入居者の収入や住宅の立地条件などによって異なります。敷金は家賃の3か月分

▼入居資格

①町内に現住所がある方、またはその見込みのある方

②独立の生計を営み、家賃・敷金を支払う能力のある方

③同居、または同居しようとする親族がいる方

④住宅に困窮していることが明らかなる方

⑤税金などの滞納がない方

⑥観賞用の魚類以外の犬、ネコなどを飼育しない方

▼申し込み

鵜川地区で住宅を希望される方は5月15日(月)までに必要書類を本庁建設水道課へ提出してください。また、穂別地区は支所建設課へ申し込みしてください

▼申込先・問い合わせ 【本庁】建設水道課 04212417(直通)

【支所】建設課 04512117(直通)まで





環境

environment

今年も実施します

空き缶等散乱防止キャンペーン

鶴川地区で実施している「空き缶等散乱防止キャンペーン」を実施します。このキャンペーンは毎年全道で一斉にごみ拾いを行う「ラブ・アースクリーンアップin北海道」の活動期間中に毎年実施されています。個人やご家族、自治会・町内会単位での実施など、町民皆さんの多数の参加をお待ちしております。

▼日時 5月14日(日)
午前8時～9時30分

※雨天中止

▼集合場所 役場本庁舎前駐車場

▼実施箇所 鶴川地区市街地

▼持ち物

軍手、ごみ袋は用意しますので、火ばさみなどをお持ちの方は持参ください。

※自治会・町内会単位で実施される場合は事前にご連絡を

▼問い合わせ 【本庁】町民サービス課 42-2414 (直通) まで

絶対にやめましょう!

野外焼却と野焼き

家庭・事業所、工事現場から排出されるごみを野外で焼却したり、野焼きすることは法律で禁止されています。また、焼却炉を使用することも

6月1日～10日は電波利用保護旬間です
暮らしを支える電波は正しく使いましょう

電波の利用は、携帯電話や人命・財産を保護する防災無線など社会生活に必要な不可欠なものとなっていますが、不法無線局が重要無線通信やテレビ放送に妨害を与えるなど社会的な問題を発生させています。このため総務省では、6月1日から10日までを『電波利用保護旬間』と定め、電波利用環境保護の大切さを訴えています。

▶問い合わせ 北海道総合通信局 ☎(011)702-2311(代表)
URL:<http://www.hokkaido-bt.go.jp>

できません。隣近所にも迷惑となりますので絶対にやめましょう。

●野外焼却を行った場合、法律で罰せられます

▼問い合わせ 平取町外2町衛生施設組合 ☎01457121202
4まで

下水道工事のお知らせ

～平成18年度の鶴川地区の下水道工事は若草を中心に進めます～



鶴川地区の下水道事業も皆さまのおかげをもちまして市街地の約8割以上の整備を終えて、今後若草地区を中心に進めていきます。平成18年度における工事箇所は図のように予定しています。また、工事の施工にあたり、交通規制を行いますので地先の方、通行される方には大変ご不便をおかけしますが、衛生的で快適な環境づくりのためのご理解とご協力をお願いします。なお、具体的な工事内容などについては、工事発注の都度、地先関係者の方に個別に説明に伺います。

【問い合わせ】 役場本庁建設水道課 ☎42-2417 (直通)



参加しよう!!
お魚殖やす植樹運動

本町旭岡地区・水源地上流の山林が1昨年、北海道から「魚つきの森」として認定を受けました。

この山林は私たち町民の飲料水の供給水源となっております。私たちに安全で安定した飲料水を供給し、海へ豊富な栄養分を与えてくれる山林。その環境を守ることが魚が住みやすい環境づくりにもつながります。鵜川漁協女性部では、平成8年度からこういった環境づくりを目的に毎年、広葉樹を中心に植樹活動を行ってきました。今年も行うこととなりましたので、ぜひ町民の皆さんも参加してください。植樹を終えた後は、散策や山菜摘みもあります。

当日のスケジュール

9:00 出発

10:00 現地到着

10:10 開会式

10:20 植樹

11:00 散策、山菜摘み

12:00 昼食(豚汁あります)

13:00 現地出発

13:30 本庁舎前到着解散

14:00 支所前到着解散

▼日時 5月14日(日)

▼【穂別地区】

午前9時までに総合支所前駐車場に集合してください

▼【鵜川地区】

午前9時までに本庁舎前駐車場に集合してください

▼持ち物 おにぎり、軍手、長靴

▼参加料 一人300円(保険料など)

▼申し込み

5月10日までに「むかわ・森・川海を守り隊」事務局(役場農政林務課 林務係内)へ

▼その他

当日は植樹を終えた後、山菜摘みなど森林に親しむ行事も企画しています。また、昼食時には「守り隊」から豚汁の差し入れがあります

▼申込先・問い合わせ 【本庁】農政林務課 42・2330(直通)まで

林野火災予防強調期間

4月10日～5月31日



雪が解け春がやってくると空気が乾燥しはじめ、林野火災が発生しやすくなります。山火事の原因を見ると、タバコの吸い殻の不始末、野焼き、子供の火遊びなど人為的なものが半数以上を占めています。一人ひとりが注意して豊かな森林を守りましょう。

山林、原野に入るには

- 火器類は森林内に持ち込まない
- 森林内で喫煙をしない
- 空き缶・紙くずなどのゴミは必ず持ち帰る
- 乾燥注意報発令中の入林は、極力避けること
* テレビ、ラジオの気象情報に注意してください

▶ お問い合わせ

【鵜川地区】 役場本庁農政林務課 林務係 ☎42-2330(直通)
【穂別地区】 総合支所農林商工課 林務担当 ☎45-2115(直通)





第5回

「むかわ町」開町記念事業

北海道・川の日ワークショップ 6月3日(土)・4日(日) in むかわ

—「川の日」ワークショップってなに?—

●全国では日本の川を「いい川」にしようと、さまざまな事業を実施しています。しかしながら「いい川」とは何か、川を整備する立場、川の付き合い方によって、そのイメージや思いに違いがあるのも実情です。

●このワークショップは、それぞれの立場で想う「いい川」また「いい川」をつくる活動などを発表し、住民と行政が一緒になって公開選考を行いながら私たちや地域にかけがえない「いい川」、あるいは整備されて、みんなに愛されるようになった「いい川づくり」について議論し、また交流しようとする取り組みです。

★ 会 場 ★

★川の日ワークショップ★
『タンポポ公園』

※天候により変更する場合があります

★交流会・避難所体験宿泊★
『四季の館』

みんな遊び
にきてネ!



社会状況の変化に伴い、川の持つ自然、文化などさまざまな役割に対して人々の関心が高まり、川に関する多様なニーズが新たに顕在化してきています。

北海道においてもいくつかの川に関わる活動団体がNPO法人化し、水環境保全、流域交流といった動きが活発化してきていますが、各主体間の連携・協働はまだ未熟であり、流域全体を視野に入れた活動にはなっていない。北海道は国内でも有数の自然環境が残っている土地であり、環境の保全とその活用をいかに調和させるか、社会政策上、北海道の未来を切り開く重要な課題です。

こうした状況のもと、「北海道・川の日ワークショップ」は、2002年7月第1回大会が札幌で開催され、官民を問わず全道より18団体が参加し行われました。翌年4月には帯広において実行委員会を設け、30団体もの参加を得て行われました。また、この大会から全国川の日ワークショップの予備選考会的な位置づけも加味されました。

*** 大会プログラムと会場 ***

■6月3日(土曜日)午後12時30分から
※受付は午前11時30分から

開会式：たんぼぼ公園
ワークショップ：たんぼぼ公園
(一次選考)

記念講演：四季の館
交流会：四季の館
避難所体験宿泊：四季の館

※天候により3日のワークショップ会場を
「四季の館」に変更する場合があります

■6月4日(日曜日)午前9時00分から

一次選考敗者復活戦：四季の館
ワークショップ：四季の館
(二次選考)

「川のテーマ曲」：四季の館
表彰式：四季の館
閉会式：四季の館

エクスカージョン：午後12時30分から
☆カヌー体験☆漁船クルーズ☆植樹
☆鵜川河口干潟観察☆たんぼぼ遊び

▶問い合わせ 「第5回川の日ワークショップinむかわ」事務局(むかわ町花園3-18) ☎42-2002
URL : <http://www.geocities.jp/kawanohi2006/index03.html>

施設情報
institution

徳別地球体験館の町民無料の日

徳別地球体験館では、たくさんの方のみなさまにお越しいただき、地球体験館に親しんでもらえるよう、毎年「町民無料の日」を設けています。徳別地区はもとより、鶴川地区にお住まいの方も、多くの町民のみならず、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

私たちサイエンスガイドがご案内します!

地球体験館 町民無料の日

11/23	11/3	9/18	9/12	7/17
勤労感謝の日から30日まで	文化の日	敬老の日	宇宙の日	海の日

徳別博物館の今月のイベントです

徳別博物館では、毎月展示会を行ったり、夏期には化石のクリーニング見学や体験などのイベントも行っていきます。今月のイベントは次のようになっています。

第13回マイ・ミュージアム

【収蔵庫の化石展】

▼日時 5月21日(日)まで 公開中

▼会場 午前9時～午後4時30分 博物館特別展示室

▼見学料 無料

▼その他

5月3日・4日はアンモナイトの化石のレプリカ作りが体験できます

※参加料は無料。午前は10時から、午後は1時30分から開催

第1回ほべつ道民の森自然観察会

【花・山菜ウォッチング】

▼日時 5月13日(土)

午前9時30分～11時30分

▼集合 博物館前に午前9時20分まで

▼案内人

小山タエコさん(博物館協力会)

▼参加料 無料

▼申し込み

事前に申し込みが必要です。申し込みは徳別博物館へ

▼申込先・問い合わせ 徳別博物館

☎ 45-3141

相談
consultation

5月22日～28日は春の行政相談強調週間

総務省では毎年5月の一週間を「春季行政相談強調週間」と定め、行政相談制度に関する国民の理解と認識を深めることも、同制度の利用の促進に努めています。平成18年度も来る5月22日(月)から28日(日)までを「春季行政相談強調週間」と決めました。皆さんから年金、登記、道路

河川、郵便、窓口サービスなど役所の業務についての苦情、要望、意見をお聞きして改善を図ります。

相談は無料で秘密を守ります。ご利用をお待ちしております。

▼行政相談委員

【鶴川地区】

小池和夫氏 ☎ 42-5204

【徳別地区】

浅野勝司氏 ☎ 45-2376

開設します

【困りごとなんでも相談所】

困りごとなんでも相談所を開設します。毎日の生活のなかで、いじめ・差別、家庭内での暴力、職場での嫌がらせ、ストーカーなど人権問題でないかと感じたり、不動産・金銭のトラブル、相続・戸籍など法律の内容がわからないなどの困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

相談は無料で、予約も必要ありません。また、秘密は厳守いたします。

▼日時・場所

【鶴川地区】6月7日(水)

午後1時～4時・産業会館

【徳別地区】6月1日(木)

午前10時～午後3時・徳別町民センター

▼相談員 人権擁護委員

▼問い合わせ 札幌法務局若小牧支局 ☎ 0144-3417151

無料で相談をお受けします

法律無料相談の日

お金の貸し借り、借家・借地のトラブル、離婚、遺産相続などの相談をお受けします。

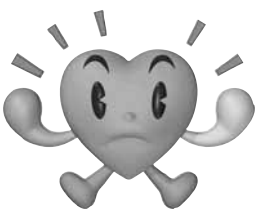
相談は無料で、もちろん相談者の秘密は守られますので、安心してご相談ください。なお、申し込みは事前に役場本庁町民サービス課まで連絡ください。

▼日時 6月9日(金)

午後1時30分～4時

▼場所 産業会館相談室

▼相談員 吉川忠利弁護士





イベント
event

5月21日は
アリモリカップマラソン大会

世界的マラソンランナー有森裕子さんと走るマラソン大会のイベント「06アリモリカップ・マラソン大会」を開催します。この大会は有森さんが提唱する「喜びを力に」をコンセプトに、走ることを通して「生きる力」を育むこと、そして心身の健康づくりを目的としています。また、当日はマラソンのほかに、さまざまなアトククシヨンを用意しております。ぜひ、有森さんと一緒に走ってみませんか。たくさん参加をお待ちしております。親子の参加も大歓迎です。



5月21日(日)、
有森裕子さんと
一緒に走ろう。



▼日時 5月21日(日)

受付 午前8時～9時

開会式 午前9時15分～

スタート 午前10時～

▼会場

穂別リバーサイドパーク内管理棟前

▼種目

【個人の部】3kmコース／5・2743kmコース

【親子の部】3kmコース

※小学生のお子さんと保護者の2人以上

一組で参加。ゴールまで一緒に完走

▼参加資格 小学生以上

▼申し込み

5月12日(金)までに所定の申込用紙に必要事項を記入し、役場支所教育振興課へ

▼申込先・問い合わせ 【支所】教育振興課 45-2113(直通)



5/21 (日)

2006 たんぽぽ フェスティバル

- ♪ お楽しみ抽選会は午前10時から♪
- ♪ 恒例のジャンボ鍋は正午頃から♪
- ♪ フィナーレのもちまきは午後2時45分頃から♪

生涯学習
lifelong education

高齢者大学(60歳以上対象)

基本講座(一般の方も参加ください)

【生命の貯蓄体操教室】

高齢者大学では、チャレンジデーで金メダル獲得のために「生命の貯蓄体操教室」を行います。体操で心地良い汗をかきましょう!

▼日時 5月31日(水)

午前10時30分～11時30分(予定)

▼会場 町民体育館

▼持ち物 運動靴

※参加された方には高齢者大学出席印とチャレンジデー参加賞を贈呈します。詳しくはチャレンジデーのチラシを

▼問い合わせ 【本庁】社会教育課 4212485(直通)まで

わんぱく広場(小中学生対象)

【春のふれあい自然観察会】

春の自然とふれあいながら、一緒に遊びませんか。春の野山はおいしいものがいっぱいです!

▼日時 5月13日(土)

午前9時～12時30分

※役場前に午前8時55分までに集合してください。現地で集合する場合は午前9時20分までに春日浄水場へ

▼講師

「ネイチャー研究会inむかわ」の皆さん

▼持ち物

おにぎり、おしぼり、水筒、長靴など

▼申し込み 5月10日(水)までに教育委員会社会教育課へ

※小雨決行、雨天時中止

▼参加料 無料

▼申込先・問い合わせ 【本庁】社会教育課 4212485(直通)まで

【河口干潟へ楽しいピクニック】

渡り鳥の中継地「鶴川」の貴重な環境を学ぼう。お友達や親子で参加しませんか。親子参加も大歓迎!

▼日時 6月10日(土)

午前9時30分～午後1時

▼行程 役場前～鶴川河口干潟

▼内容

干潟に住む「カイ」の観察や干潟の大切さのお話

▼講師

「ネイチャー研究会inむかわ」の皆さん

▼持ち物

おにぎり、おしぼり、水筒、長靴、敷物、帽子

▼申し込み

6月8日(木)までに教育委員会社会教育課へ

▼参加料 無料

※「わんぱく広場」事業に参加される子どもたちは、年間5000円のスポーツ安全保険に加入が必要

▼申込先・問い合わせ 【本庁】社会教育課 4212485(直通)

楽習塾(高校生以上対象)

【コンテナガーデン講座】

あなたのお庭にもう一つ素敵な花を増やしてみませんか。

▼日時 5月17日(水)・18日(木) 午後7時～8時30分

▼会場 婦人研修センター

▼講師 神田郁子さん

▼内容 花の性質や育て方など

▼持ち物

プランター1個(30cm前後のもの)、

ゴム手袋、シヨベル

▼材料費 1500円程度

▼申し込み

5月12日(金)までに教育委員会社会教育課へ

▼申込先・問い合わせ 【本庁】社会教育課 4212485(直通)まで

楽習塾の講座メニューの募集

教育委員会では、今まで町民の皆さんが趣味や文化に親しみ潤いのある生活を送っていただくきっかけとして、楽習塾を開設し事業を行ってきました。平成18年度の事業を進めるにあたり、町民のみなさんから希望する講座メニューなどを募集し、参考にしたいと考えています。「こんなことがしてみたい!」「こんなことを教えてほしい!」という要望がありましたら、教育委員会社会教育課(本庁)までご連絡ください。※要望があった講座をすべて実施することができない場合もあります。

パークゴルフ場のシーズン券

【3カ所共通】で使えます

3月27日に「むかわ町」が誕生し、町内にあるパークゴルフ場は3カ所となります。シーズン券については、3カ所共通で使用できるようになりますので、今まで以上に楽しむことができます。

▼開場時間

①ししやもパークゴルフ場 午前8時～午後6時

②鶴川運動公園パークゴルフ場 午前8時～午後6時

③穂別ふれあいパークゴルフ場 午前8時30分～午後6時

▼使用料

①一般(高校生以上) 町民300円/町外者500円

②小中学生・65歳以上 町民100円/町外者200円

③シーズン券

町民・町外者1万円/65歳以上の町民5千円

④貸出用具 1セット(ボール・スティック)1000円

※当日使用券については、各施設の受付や券売機にて購入できます。また、シーズン券の購入や団体で使用する場合、お問い合わせ先にご確認を

▼問い合わせ 【本庁】社会教育課 4212485(直通)・【支所】教育振興課 4512113(直通)まで



「むーブ」いよいよ活動を開始!!

3月に設立された、むかわスポーツクラブ「むーブ」が
4月からいよいよ本格的活動を開始しました。
現在会員数は約70名。運営委員会などでさまざまな事業を
企画しており、まだまだ会員募集中です!



「むーブ」の年会費

幼児(4歳以上)…1,000円/子ども(中学生以下)…2,000円
一般(高校生以上)…3,000円/ファミリーA…5,500円
ファミリーB…1,000円/登録会員…1,000円
*ファミリー会員は家族2名から入会が可能



「むーブ」会員の特典

「むーブ」の会員には
●会員限定のイベント
●会員の参加料割引
など、いろいろな特典があります!!

5月の主な活動予定

5月2日・9日・11日・16日・18日…Ar imor iCupマラソン大会の練習
5月7日…ふれあい農園での「体験農業」
5月21日…Ar imor iCupマラソン大会出場
5月27日…札幌ドームツアー【日ハムVSヤクルト】



むかわスポーツクラブ
**「むーブ」が
動き出す。**

俳句

しがらみの何時しか解けて水温む

福住 武田一男

思い出を重ね重ねて雛納め

二宮 毛利絹代

服薬の喉ごし優し水温む

花岡 日向不二於

握手して芽吹き信じる別れなり

花岡 佐藤葵世

吊橋の山動かし木の芽風

福住 宮脇木脩

濃く薄く山笠競い木の芽立つ

文京 中井ひろし

鷗川俳句会選

短歌

仕上げむと幾年持ちこすタペストリー一針一針に思ひをこめて

福住 中村富久子

水分をほどよく含みてそば粉らは粒に変じるこね針の中

福住 田畑幸子

湯船にて台湾乙女らガラス越し雪しまくさまに歓声上ぐる

汐見 佐々木美智子

原始林「むかわ支部」選

短歌

効率よく食するための策ねれば粉末がよし高野どうふも

花岡 鈴木京子

首伸ばしオオハクチョウがまどろみぬ牧の堆肥場に餌食いし後

文京 梅津譲一

大人いや大人になりたい思春期の子と向かい合う五月雨のふる

厚真 楠崎陽子

鷗川短歌会選

米原 中島ミサ

高祖

さんの作品
下の組み合わせられたと思事な作品で

評

福住 今川苑香さんの作品

素直な運筆で一字一字心が入り良くまとめています。

佐々木千翠 評

高五
今川苑香
積梅
雪花



読者のページ

このページは読者の皆さんのページです

皆さんからの声はもちろん、スポーツ、サークル活動の成績や作品などもお待ちしております。

本庁企画課・企画広報係か、支所・地域振興課まで投稿ください。

Reader's voice

読者の質問②

Q 毎日、パークゴルフ場のオープンを楽しみにしているのですが今年はいつ頃から使えるのでしょうか

A むかわ町には3か所のパークゴルフ場があります。今年はゴールデンウィークスタート時から使用できます。ぜひ、3か所共通のシーズン券で心地よい汗を流してお楽しみください。芝生の保護目的から開始と閉鎖時期の設定はとても重要であり、愛好家の皆さまには遅い時期のオープンになったり我慢をしていただく年もありますが、今年の大連休は「むかわ町パークゴルフ場めぐり」を楽しんでください。詳しくは本庁社会教育課または総合支所教育振興課におたずねください。

Reader's voice

読者の質問①

Q 新町誕生後に送られてきた「合併に伴う町名及び区域内町名・字名の変更通知兼証明書」はどのように利用できますか。また、ずっと保管しないといけないものなのでしょうか

A 町では新町が誕生した3月27日に、全世帯に「合併に伴う町名及び区域内町名・字名の変更通知兼証明書」を郵送しました。この通知書兼証明書は金融機関の預貯金証書や運転免許証の住所変更手続きの際に利用できます。なお、このほかの各種手続きについては、役場で無料発行している「住所変更証明書」を申請してください。また、保管については必要な手続きが終わるまでお持ちになってください。

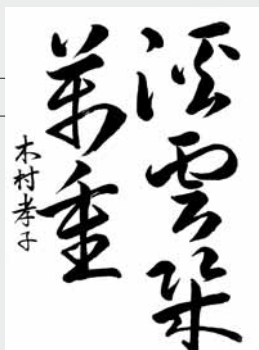
あのお

美幸

木村孝子さんの作品

草書の特徴をよくとらえ丁寧に着いています。

北田北穂 評



駒場

枡丸政恵さんの作品

原帖の特徴をよくとらえ伸びやかな運筆がよく出ています。

田中春翠 評



米原

中島ミサ

縦・横・上
わせに苦心
いすが見
す。

佐々木千翠

BOOKS

RECOMMENDED

図書館(室)の今月の本



2005.MAY

鶴川地区 まなびランド図書室
美幸3丁目3-1四季の館内 ☎0145-42-5057



『40』
石田衣良著
●あらすじ 40歳から始めよう！甲斐性なしの40男が人生の折り返し地点で始めた仕事は…？人生後半、再び飛び立つ勇氣と希望をくれる感動作。



『終末のフール』
伊坂幸太郎著
●あらすじ この命をあきらめない、生きる道のあるかぎり。世界の破滅まであと3年、極限状態で生き抜こうとする人間の強さを描き、生きる意味を問う。



『99.9%は仮説』
竹内薫著
●あらすじ 「最近どうも頭が固くて…」という方、常識や先入観に縛られ身動きがとれないと感じる方に。頭の柔軟体操で世の中の見方が変わります！

開館時間
午後1時～8時

休館日
年中無休

穂別地区 穂別図書館
穂別80-6 ☎0145-45-2396



『庭仕事の愉しみ』
ヘルマンヘッセ著
●あらすじ ヘッセが庭仕事から学んだ自然と人生についてのエッセイ。自身によるカラーの水彩画がたくさん載ってます。



『魂のいちばんおいしいところ』
谷川俊太郎著
●あらすじ 「明日」が収録された1990年刊の詩集。おだやかな気持ちになれる25編。



『佐賀のがばいばあちゃん』
島田洋七著
●あらすじ 佐賀に預けられた昭広少年を待っていたのは、元気で明るい、がばい(すごい)祖母との貧乏だった。でも家にはいつも笑いが溢れ…。

開館時間
午前9時30分～午後4時30分

休館日
毎週月曜日※休日の場合は翌日
館内清掃日、年末年始

●●●人の動き●●●
3月1日～31日
出生5人 死亡10人
転入10人 転出10人

●人口 10,468人
男性 5,122人
女性 5,346人

●世帯 4,566世帯
※平成18年4月1日現在

MUKAWA TOWN

～編集スタッフから～

- 新町がスタートして、はや1か月。ようやく役場のなかも落ち着きを取り戻しつつあります。広報誌の編集スタッフも増員となり、わが職場も活気がでてきました。これから広報誌はもちろんホームページの内容ももっと充実するようにがんばるゾ!! (T)
- 5月号から担当になりました。よろしくお願ひします。新生むかわ町の広報マンにとっても光栄です。早速、ピカピカの1年生の入学式取材しましたが、いがかがだっただしょうか。自分も広報マン1年生。ピカピカ輝く、希望に満ちた広報誌づくりを目指します!(S)

